



にししゅう

# 西小だより

ホームページはこちら→



「強く 正しく 健やかに」 令和5年 7月19日(水) 第7号 校長 都外川 潔

今年度は学校創立150周年。そして、コミュニティスクール1年目です。

## 先生あのね…

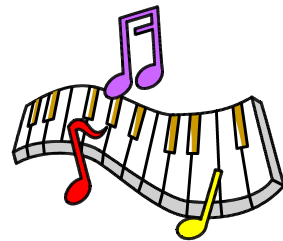
先日、休み時間に校内を歩いていたら、子どもたちからいろいろと声をかけられておもしろかったです。紹介します。

「自分の名前が漢字で書けるようになりました！」  
(いいね～。何かができるようになるってうれしいよね！)

「インドネシア式算数って知ってますか？」  
(もしかしてインド式算数かな？ でも、チャレンジしてるんだね～。すごいね！)

「聴いてください！」  
(鍵盤ハーモニカの演奏を聴かせてくれました。とっても上手だね！)

「これ作りました！」  
(これは…ハーバリウムだね～。とってもきれいだね！)



声をかけてくれた子どもたちが、みんな、にこにこといひ笑顔(∧\_∧)だったので、私もうれしくなりました。

また、ある6年生の男の子は、指を額にあてながら「校長先生こんにちは！」と元気にあいさつをしてくれました。(えっと…、そのポーズは何だっけ?)と思っていたら、「この前学習した手話です。」と教えてくれました。(そうか～。そうだった!) 6年生は、総合的な学習の時間に、長崎県ろうあ協会大村支部の方々をゲストティーチャーとしてお迎えし、耳が聞こえない人とのコミュニケーションの取り方などについて学習したのです。

私もその様子を見させていただいたのに、学んでいなかったなあと反省するとともに、学んだことを活かそうとする姿勢をうれしく思ったところです。

このように、子どもたちが何かができるようになったり、何かができるようになるためにチャレンジしたりする姿はとても素晴らしいなと思います。そして、私たち大人ができることは、そのことを認めたり励ましたりすることだと思います。

21日からの夏休みにも、子どもたちは様々なチャレンジをしたり、新しい発見をしたりすることと、思います。ご家庭でも、そうした姿を認め、励ましていただけるとありがたいです。私も、また子どもたちからいろいろな話が聞けることを楽しみにしています。

